

救急搬送において受入に至らなかった理由

○ 救急搬送において受入に至らなかった理由*1として、以下の項目が挙げられている。

表1. 受入に至らなかった理由ごとの件数 (医療機関の区分によらず集計したもの)

1	2	3	4	5	6	7
処置困難	ベッド満床	手術中・患者 対応中	専門外	医師不在	初診 (かかりつけ医なし)	理由不明 及びその他
22.9%	22.2%	21.0%	10.4%	3.5%	0.2%	19.7%

表2. 第三次救急医療機関に限ったもの*2

2	3	1
ベッド満床	手術中・患者 対応中	処置困難
37.8%	34.5%	12.7%

表3. 第二次救急医療機関以下に限ったもの*2

1	3	2
処置困難	手術中・患者 対応中	ベッド満床
39.0%	16.2%	15.6%

※ いずれも、消防隊員が、医療機関に依頼したものの受入に至らなかった事案において、医療機関との電話でのやりとりの中で聞き取った内容を、消防側の判断で、上記1～7に割り振り集計したもの

*1 救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査 (総務省消防庁 平成20年3月11日)

平成19年中に行われた救急搬送のうち、重症以上傷病者搬送人員530,671人から転院搬送を除いた119,046について調査した結果

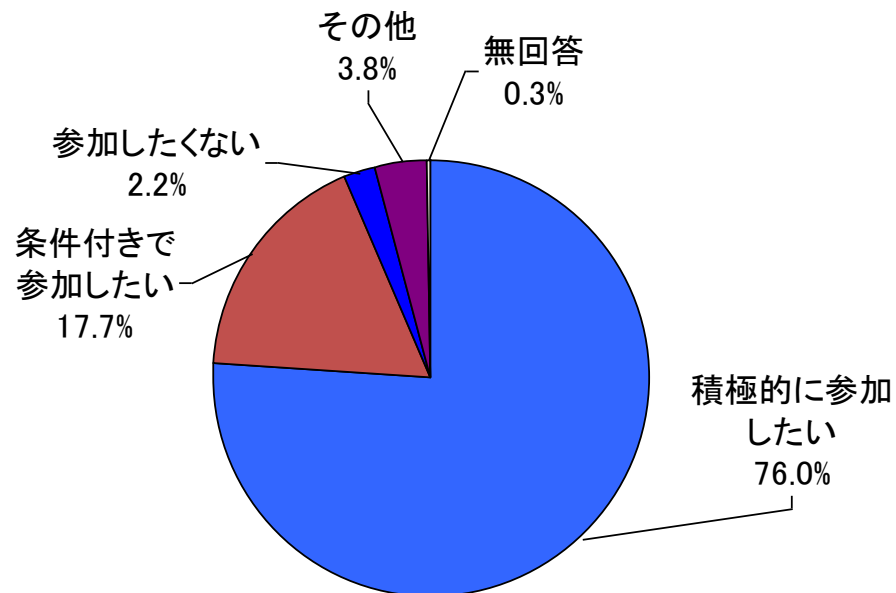
*2 実態調査のうち集計可能な宮城県、埼玉県、東京都、静岡県、愛知県、広島県、福岡県における数値

日本慢性期医療協会

療養病床を対象とした急性期医療との連携に関する アンケート調査

実施時期 : 平成20年5月～6月
調査対象 : 日本慢性期医療協会会員740病院
回 答 : 介護療養型医療施設 287病院
医療療養病床 366病院

1. もし、あなたの医療圏で2次救急・3次救急と療養型病院との間に連携システムを作る事になれば参加されますか？



(※回答施設数 n=317)

	回答病院数	割合 (%)
積極的に参加したい	241	76.0
条件付きで参加したい	56	17.7
参加したくない	7	2.2
その他	12	3.8
無回答	1	0.3
合計	317	100.0